

青の煌めきあおもり国スポ・障スポ実行委員会

第5回 医事・衛生専門委員会 結果概要

1 日 時

令和6年12月19日（木） 14：00～15：10

2 場 所

県庁北棟236会議室

3 出欠状況

出席者 10名

欠席者 1名（前田 隆子 委員）

4 議事概要

○ 委員等の変更

委員1名の変更に加え、県の組織改編に伴う所属課名の変更について報告した。

○ 説明・報告事項

(1) 青の煌めきあおもり国スポ・障スポ準備経過

(2) 青の煌めきあおもり国スポ・障スポ実行委員会決定事項

(3) 医事・衛生業務年次スケジュール

(質疑) なし

(4) 青の煌めきあおもり国スポ・障スポ第一次医療従事者見込数調査の結果

(質疑)

【工藤委員 県歯科医師会】

歯科医師の配置について、配置予定の14名はソフトボール競技の会場で配置予定。その他、ラグビーやバスケットボール、空手など歯のケガの発生が見込まれる競技についても、競技団体に歯科医の配置の必要性について説明しているが、現在のところ、要望がない。国スポの競技会場における医療従事者の配置については、会場地市町村委員会が担当することになっているが、県実行委員会でも確認していただきたい。その上で必要ないということであれば、県歯科医師会もそれ以上は活動を行わない。

スポーツデンティストの資格をもつ歯科医は本県に18名おり、国スポで需要があるならば、県歯科医師会でもスポーツデンティストの養成に力を入れたいが、現時点では需要が少ない。急に配置したいと言われても準備できるものではないので、県実行委員会に

は今一度、会場地市町村への確認をお願いしたい。

【事務局】

確かに、コンタクトプレイで歯が欠ける場面もある。いただいた意見をもとに、各市町村に今一度照会を行い、結果について報告していく。

【三村委員 県がん・生活習慣病対策課】

医療従事者の配置について、佐賀県の配置実績と比較して、医師や看護師の配置が過剰で保健師の動員が不足しているとなっているが、佐賀県の配置が適当であったと判断しているのか。

【事務局】

佐賀県の医療救護担当者に確認したところ、医師の配置と比較して傷病者の発生が少なかつたと意見があった。資料の数値は現時点の見込みであり、来年開催される滋賀県の配置などを確認して、最終的な配置を決めていく。

【三村委員】

会場地市町村の医療従事者の配置について、第一次見込数調査の結果、看護師の配置が449名となっているが、これは臨床に近い理想的な数値。佐賀県を参考に看護師を保健師に代替していくとのことだが、正直、保健師は行政に近い仕事をしており、現場の経験はほとんどない。現時点で理想的な数値なのに、わざわざ変更する理由があるのか。

現場の保健師を見ている齋藤（和子）委員から意見をいただきたい。

【齋藤（和子）委員 保健所長会】

正直な話、皆さんがイメージするような保健師が救護に対応できるというのは誤っている。県の保健師は、看護師経験のある方はわずかにいる程度で、ほとんどの保健師の方が大学を出てまっすぐに保健所や県庁内に配置される。

現場の話になるが、保健所の保健師は通報があると、精神患者の緊急対応をしなくてはならず、夜中の対応もあり余力は少ない。

市町村の保健師に動員を相談することに関しては問題ないと思うが、市町村の保健師も救護の現場を経験している方はほとんどいないと思うので、看護師の代わりに保健師を配置すればいいと安易に考えるのは間違っている。保健師が自ら進んで、処置をするということはない。

災害派遣で保健師が派遣されているが、実際に災害現場で保健師が行っている業務は、被災者の話を聴き、医療従事者に繋げること。治療をしているわけではない。

そういった意味で保健師の配置には不安が残り、三村委員のおっしゃるとおり、なぜ看護師を減らして、保健師で代替しなくてはいけないのか疑問がある。

【三村委員】

佐賀県を基準にして医療従事者を配置するというのとは離れて、検討を進めていただきたい。

【事務局】

医療従事者の配置について、競技規則で医師の配置を定めている競技、定めていない競技があり、定めていない競技については競技団体と会場地市町村で編成を決めていく。今後、第二次調査を行う中で、佐賀を視察したうえでの配置となっているか、救急自動車や搬送先などバックアップ体制の検討状況などを市町村担当者に確認していく。

【佐藤委員長 県医師会】

医療現場では、早めに国スポ・障スポの医療従事者の配置予定について教えてもらいたいとの意見もある。対応していただきたい。

【工藤委員】

医師の派遣について、県医師会に相談していると思うが、スポーツドクターの会にも相談してはどうか。スポーツドクターの会の会長からも専門的な意見を話せるとのご意見があり、検討していただきたい。

ちなみに、八戸で冬季国体が開始された際は救護所に保健師が1名配置されており、書類の記入など非常に助かった。事務の補助として保健師を配置していただければ医療従事者は助かる。

(5) 視察報告 (SAGA2024)

(質疑)

【神委員 日本赤十字社青森県支部】

佐賀県では、移動救護班は保健師、ボランティアで構成されているが、移動救護班が対応した傷病者に救急搬送が必要だった場合、搬送の判断は誰がしたのか。

【事務局】

佐賀県では、搬送の判断について保健師は行っておらず、近くの救護所の医師又は救護本部に配置された消防職員が判断を行っていた。本県でも、保健師による判断は想定していない。また、移動救護班が行う対応についても、熱中症の方に経口補水液を渡す、傷病者を近くの救護所まで運ぶなど簡単な作業を依頼することを想定している。

国スポ総合開会式について、佐賀県では18,000人の参加者がいたが、本県では屋内会場への変更に伴い3,000人まで減少することを想定している。その中でどのような体制にしていくのか、今後検討していきたい。

【齋藤(武)委員 県薬剤師会】

本県における寒さ対策についてお伺いしたい。

【事務局】

開・閉会式に参集する選手団の数を絞ることで、控え所などを全て屋内とし、式典会場への移動などで負担がかからないようにすることを検討している。

○審議事項

(1) 青の煌めきあおもり国スポ・障スポ医療救護実施要領（案）

(2) 青の煌めきあおもり国スポ・障スポ会場地市町村医療救護業務指針（案）

⇒原案どおり可決。

(質疑)

【神委員】

医療救護実施要領について、県では国スポ・障スポの式典及び障スポの競技会場における医療救護について担当するとなっているが、障スポの競技会場における医療救護はどこで定めているか。

【事務局】

医療救護実施要領の「3 競技会場及び練習会場における医療救護」の内容が障スポ競技会場における医療救護業務を定めたものになる。

【中嶋課長代理 県医療薬務課（代理出席）】

「3 競技会場及び練習会場における医療救護」について、「じゅんじる」の漢字が「順じる」となっている。正しくは「準ずる」では。

【事務局】

誤字について修正し、修正したものを後日送付する。

(3) 青の煌めきあおもり国スポ・障スポ食品衛生対策実施要領（案）

⇒原案どおり可決。

(質疑)

【齋藤（武）委員】

保健所による監視指導について、細菌検査などは行う予定か。

【事務局】

保健所が普段使用する「食品衛生監視票」に基づいて監視指導を行ってもらおう。追加で検査することは想定していない。

(4) 青の煌めきあおもり国スポ・障スポ弁当調達要項（案）

(5) 青の煌めきあおもり国スポ・障スポ弁当調製施設選定基準（案）

⇒原案どおり可決。

(質疑)

【田中委員 県保健衛生課】

弁当調製施設選定基準の「3 衛生管理体制（4）」において、ノロウイルスの検便検査で括弧書きで抗原検査とあるが、この検査は実際にあるものか。

【事務局】

確認する。誤っていた場合は、（抗原検査）の項目を削除することで対応する。

【田中委員】

「3 衛生管理体制（1）」において、食中毒発生等で営業停止等の処分を受けた場合も、保健所の監視指導を受け、問題なければ選定できるとなっているが、これは弁当施設の選定の際、保健所が改めて監視指導を行うことになるのか。

【事務局】

選定時の監視指導は想定していない。営業停止等の処分後に保健所による監視指導を行っていると思うが、その際に処分が取り消しとなり営業許可がおりていれば、選定可能とする整理。施設選定後は、食品衛生対策実施要領に基づき監視指導を依頼する予定。

○情報交換

【事務局】

今回、食品衛生に関わることを多く審議したことから、実際に対応することになる県保健衛生課や保健所からご意見をいただきたい。

【田中委員】

弁当施設など食品提供施設への講習会について、複数回の開催を予定していると思うが、できるだけ業者側の負担が少なくなるように日程調整を行ってほしい。

弁当の保管については、業者に冷蔵車などにより製造者が設定した保存条件を守ってもらうことになると思うが、弁当を引き換えた後も、炎天下で放置していると食中毒の事故に繋がるので、引き渡しの際に大会参加者に注意喚起を行ってほしい。

【齋藤（和子）委員】

保健所が行う監視指導について、対象施設も多いので、現場も大変になることが予想される。対象施設のリストについては、できるだけ早くに保健所に提出いただければ助かる。

【齋藤（武）委員】

佐賀県の大会で、県の名産の羊羹を参加者に配るという話を聞いていたが、視察した際にその様子を見たか。

【事務局】

弁当のほかに、協賛品のヤクルトや名産の海苔を配付していたのは確認できたが、羊羹の配付は見えていない。

【齋藤（武）委員】

実は、エナジー系の成分を混ぜた羊羹を選手に渡すことを計画していたらしいが、原料がドーピング物質に引っかかる可能性があることから、直前で佐賀県薬剤師会が注意喚起し、配付を取りやめたと聞いている。青森県におけるおもてなしの配付物について、そのようなことがないように注意してほしい。